

救世主
連中帰子
町. ILTLA

国々、民が先に来る

栄光の光

60

1 起きよ、光を放て。
あなたの光が臨み、
主の栄光があなたの上にのぼったから。
2 見よ、暗きは地をおおい、
やみはもろもろの民をおおう。
しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、
主の栄光があなたの上にあらわれる。
3 もろもろの国は、あなたの光に來、
もろもろの王は、のぼるあなたの輝きに來る。
R.21:24

子. 宝が集める子.

4 あなたの目をあげて見ませ、
彼らはみな集まってあなたに來る。
あなたは子らは遠くから來、
あなたは娘らは、かいなにいだかれて來る。
5 その時あなたは見て、喜びに輝き、
あなたの心ほどよめき、かつ喜ぶ。
海の富が移ってあなたに來、
もろもろの国の宝が、あなたに來るからである。
6 多くのらくだ、ミデアンおよびエバの若きらくだは
あなたをおおい、
シバの人々はみな黄金、乳香を携えてきて、
主の譽を宣べ伝える。
7 ケダルの羊の群れはみなあなたに集まって來、
ネバヨテの雄羊はあなたに仕え、
わが祭壇の上にのぼって受けいられる。
こうして、私はわが栄光の家を顯かす。

町に平和と義

国々が来子.

60

8 雲のように飛び、
はとがその小屋に
飛び帰るようにして來る者はだれか。
9 海沿いの国々は私を待ち望み、
タルシシの船はいや先に
あなたの子らを遠くから載せて來、
また彼らの金銀を共に載せて來て、
あなたの神、主の名にささげ、
イスラエルの聖者にささげる。
主があなたを輝かされたからである。
10 異邦人はあなたの城壁を築き、
彼らの王たちはあなたに仕える。
私は怒りをもってあなたを打ったけれども、
また恵みをもってあなたをあわれんだからである。
11 あなたの門は常に開いて、
昼も夜も閉ざすことはない。
これは人々が国々の宝をあなたに携えて來、
その王たちを率いて來るためである。
12 あなたに仕えない国と民とは滅び、
その国々は全く荒れすたれる。
13 レバノンの栄えはあなたに來、
いとすぎ、すずかけ、まづは皆共に來て、
わが聖所をかざる。
また私はわが足をおく所を尊くする。
R.21:25-26

14 あなたを苦しめた者の子らは、
かがんで、あなたのもとに來、
あなたをさげすんだ者は、
ことごとくあなたの足もとに伏し、
あなたを主の都、
イスラエルの聖者のシオンとなえる。
15 あなたは捨てられ、憎まれて、
その中を過ぎる者もなかったが、
私はあなたを、とこしえの詩、
世々の喜びとする。
16 あなたはまた、もろもろの国の乳を吸い、
王たちの乳ぶさを吸い、
そして主なる私が、あなたの救主、
また、あなたのあがない主、
ヤコブの全能者であることを知るにいたる。
17 私は青銅の代りに黄金を携え、
くろがねの代りにしろがねを携え、
木の代りに青銅を、石の代りに鉄を携えてきて、
あなたのまつりごとを平和にし、
あなたのつかさびとを正しくする。
18 暴虐は、もはやあなたの地に聞かれず、
荒廃と滅亡は、もはやあなたの境のうちに聞かれず、
あなたはその城壁を「敷」ととなえ、
その門を「善」ととなえる。



主が先と存子。×太陽因

悲しみ→喜び

60

19 昼は、もはや太陽があなたの光とならず、夜も月が輝いてあなたを照さず、主はとこしえにあなたの光となり、あなたの神はあなたの栄えとなられる。あなたの太陽は再び没せず、あなたの月はかけることがない。主がとこしえにあなたの光となり、あなたの悲しみの日が終るからである。21 あなたの民はことごとく正しい者となって、とこしえに地を所有する。彼らは私の植えた若枝、わが手のわざ、わが栄光をあらわすものとなる。22 その最も小さい者は氏族となり、その最も弱い者は強い国となる。私は主である。その時がくるならば、すみやかにこの事をなす。

R. 21:23
22:5

61

1 主なる神の霊が私に臨んだ。これは主が私に油を注いで、貧しい者に福音を宣べ伝えることをゆだね、私をつかわして心のいためる者をいやし、縛られた者に解放を告げ、

2 主の恵みの年とわれわれの神の報復の日とを告げさせ、また、すべての悲しむ者を慰め、3 シオンの中の悲しむ者に喜びを与え、灰にかえて冠を与え、悲しみにかえて喜びの油を与え、憂いの心にかえて、さんびの衣を与えさせるためである。こうして、彼らは義のかしの木となえられ、主がその栄光をあらわすために植えられた者となえられる。

悲→喜 荒→豊 義先王

荒野子→国再建

61

4 彼らはいにしえの荒れた所を建てなおし、さきに荒れすたれた所を興し、荒れた町々を新たにし、世々すたれた所を再び建てる。5 外国人は立つてあなたがたの群れを飼い、異邦人はあなたがたの畑を耕す者となり、ぶどうを作る者となる。6 しかし、あなたがたは主の祭司となえられ、われわれの神の役者と呼ばれ、もろもろの国の富を食べ、彼らの宝を得て喜ぶ。7 あなたがたは、さきに受けた恥にかえて、二倍の賜物を受け、二倍の賜物を受け、はすかしめにかえて、その嗣業を得て楽しむ。それゆえ、あなたがたはその地にあつて、二倍の賜物を受け、とこしえの喜びを得る。8 主なる私は公平を愛し、強奪と邪悪を憎み、真実をもつて彼らに報いを与え、彼らと、とこしえの契約を結ぶからである。9 彼らの子孫は、もろもろの国の中で知られ、彼らの子らは、もろもろの民の中に知られ、すべてこれを見る者は、これが主の祝福された民であることを認める。

R. 1:6
5:10

義先王

10 私は主を大いに喜び、わが魂はわが神を樂しむ。主が私に救の衣を着せ、義の上衣をまとわせて、花婿が冠をいただき、花嫁が宝玉をもって飾るようになされたからである。11 地が芽をいだし、園がまいたものを生やすように、主なる神は義と誉とを、もろもろの国の前に、生やされる。



美の王冠

- 1 シオンの義が朝日の輝きのようにあらわれ、エルサレムの救が燃えたいまつの様になるまで、私はシオンのために黙せず、エルサレムのために休まない。
- 2 もろもろの国はあなたの義を見、もろもろの王は皆あなたの栄えを見る。そして、あなたは主の口が定められる新しい名をもってとなえられる。
- 3 また、あなたは主の手にある麗しい冠となり、あなたの神の手にある王の冠となる。
- 4 あなたはもはや「捨てられた者」と言われず、あなたの地はもはや「荒れた者」と言われず、あなたは「わが喜びは彼女にある」ととなえられ、あなたの地は「配偶ある者」ととなえられ、主はあなたを喜ばれ、あなたの地は配偶を得るからである。
- 5 若い者が処女をめぐるように、あなたの子らはあなたをめぐり、花婿が花嫁を喜ぶように、あなたの神はあなたを喜ばれる。

エルサレム再建書

民の救い

エルサレム再建

- 6 エルサレムよ、私はあなたの城壁の上に見張人をおいて、昼も夜もたえず、もだすことのないようにしよう。主に思いつかれることを求める者よ、みずから休んではならない。
- 7 主がエルサレムを堅く立てて、全地に誉を得させられるまで、お休みにならぬようにせよ。
- 8 主はその右の手をさし、大能のかいなをさして誓われた、「私は再びあなたの穀物を、あなたの敵に与えて食べさせない。また、あなたが労して得たぶどう酒を異邦人に与えて飲ませない。
- 9 しかし、穀物を刈り入れた者は、ぶどうを集めた者は、わが聖所の庭でこれを飲む」。
- 10 門を通って行け、通って行け。民の道を備えよ。土を盛り、土を盛って大路を設けよ。石を取りのけ。
- 11 見よ、主は地の果にまで告げて言われた、「シオンの娘に言え、『見よ、あなたの救は来る。』見よ、その報いは主と共にあり、その働きの報いは、その前にある」と。
- 12 彼らは「聖なる民、主にあがなわれた者」ととなえられ、あなたは「人に尋ね求められる者、捨てられない町」ととなえられる」。

Rev. 22:12 ← T44p 40:10
 R.22:12



R.(9:13)

63

血の復讐

- 1 「このエドムから来る者、深紅の衣を着て、ボズラから来る者はだれか。その装いは、はなやかに、大いなる力をもって進み来る者はだれか。」
- 「義をもって語り、救を施す力ある私がそれだ。」
- 2 「何ゆえあなたの装いは赤く、あなたの衣は酒ぶねを踏む者のように赤いのか。」
- 3 「私はひとりで酒ぶねを踏んだ。もろもろの民のなかに、私と事を共にする者はなかった。私は怒りによって彼らを踏み、怒りによって彼らを踏みにじったので、彼らの血がわが衣にふりかかり、わが装いをことごとく汚した。」
- 4 報復の日がわが心のうちにあり、わがあがないの年が来たからである。
- 5 私は見たけれども、助ける者はなく、怪しんだけれども、ささえる者はなかった。それゆえ、わがかいなが私を勝たせ、わが憤りが私をささえた。
- 6 私は怒りによって、もろもろの民を踏みにじり、憤りによって彼らを酔わせ、彼らの血を、地に流れさせた。」

血の復讐 あわれみ (も)

主あわれみ

63

モーセ

- 7 私は主がわれわれになされたすべてのことよって、主のいつくしみと、主の誉とを語り告げ、また、そのあわれみにより、その多くのいつくしみよって、イスラエルの家に施されたその大いなる恵みを語り告げよう。
- 8 主は言われた、「まことに彼らはわが民、偽りのない子らである」と。
- 9 そして主は彼らの救主となられた。そのみ前の使をもつて彼らを救い、その愛とあわれみよって彼らをおががない、いにしえの日、つねに彼らをもたげ、彼らを携えられた。
- 10 ところが彼らはそむいて、その聖なる霊を棄てたので、主はひるがえって彼らの敵となり、みずから彼らと戦われた。
- 11 その時、民はいにしえのモーセの日を思い出して言った、「その群れの牧者を、海から携えあげた者はどこにいるか。彼らの中に聖なる霊をおいた者はどこにいるか。栄光のかいなをモーセの右に行かせ、彼らの前に水を二つに分けて、みずから、とこしえの名をつくり、彼らを導いて、馬が野を走るように、つまずくことなく淵を通らせた者はどこにいるか。14 谷にくだる家畜のように、主の霊は彼らをいこわせられた。このように、あなたはおのれの民を導いてみずから栄光の名をつくられた。」



子孫の香が、
新しくさい

生手の子

帰って来てください

15 どうか、天から見おろし、その聖なる栄光あるすみかからごらんください。あなたの熱心と、大能とはどこにありますか。あなたのせつなる同情とあわれみとはおさえられて、私にあらわれません。16 たといアブラハムがわれわれを知らず、イスラエルがわれわれを認めなくても、あなたはわれわれの父です。主よ、あなたはわれわれの父、いにしえからあなたの名はわれわれのあながい主です。17 主よ、なぜ、われわれをあなたの道から離れ迷わせ、われわれの心をかたくなにして、あなたを恐れないようにされるのですか。どうぞ、あなたのしもべらのために、あなたの嗣業である部族らのために、お帰りください。18 あなたの聖なる民が、あなたの聖所を獲て間もないのに、われわれのあだは、それを踏みにじりました。19 われわれはあなたによつて、いにしえから治められない者のようになり、あなたの名をもつて、となえられない者のようになりました。

帰って来え、
天よ、怒りなれ
罪・不義・汚れ

罪・不義・汚れに
主の怒り

1 どうか、あなたが天を裂いて下り、あなたの前に山々が震い動くように。2 火が柴木を燃やし、火が水を沸かすときのごとく下られるように。そして、み名をあなたのあだにあらわし、もろもろの国をあなたの前に震えおのかせられるように。3 あなたは、われわれが期待しなかつた恐るべき事をなされた時に下られたので、山々は震い動いた。4 いにしえからこのかた、あなたのほか神を待ち望む者に、このような事を行われた神を聞いたことはなく、耳に入れたこともなく、目に見たこともない。5 あなたは喜んで義を行い、あなたの道にあつて、あなたを記念する者を迎えられる。見よ、あなたは怒られた、われわれは罪を犯した。われわれは久しく罪のうちにあつた。われわれは救われるであろうか。6 われわれはみな汚れた人のようになり、われわれの正しい行いは、ことごとく汚れた衣のようである。われわれはみな木の葉のように枯れ、われわれの不義は風のようにわれわれを吹き去る。7 あなたの名を呼ぶ者はなく、みずから励んで、あなたによりすがる者はない。あなたはみ顔を隠して、われわれを顧みられず、われわれをおのれの不義の手に渡された。8 されど主よ、あなたはわれわれの父です。われわれは粘土であつて、あなたは陶器師です。われわれはみな、み手のわざです。9 主よ、ひどくお怒りにならぬように、いつまでも不義をみこころにとめられぬように。どうぞ、われわれを顧みてください。われわれはみな、あなたの民です。10 あなたの聖なる町々は荒野となり、シオンは荒野となり、エルサレムは荒れすたれた。11 われわれの先祖があなたをほめたたえた聖なる麗しいわれわれの宮は火で焼かれ、われわれが暮つた所はことごとく荒れはてた。12 主よ、これらの事があつてもなお、あなたはみずからをおさえ、黙して、われわれをいたく苦しめられるのですか。

血が荒療

天から来り



反逆の民に報いし

1 私は私を求めなかつた者に
問われることを喜び、
私を尋ねなかつた者に
見いだされることを喜んだ。
「私はここに居る、私はここに居る」と。
2 よからぬ道に歩み、
自分の思いに従うそむける民に、
私はひねもす手を伸べて招いた。
3 この民はまのあたり常に私を怒らせ、
園の中で犠牲をささげ、
かわらの上で香をたき、
4 墓場にすわり、ひそかな所にやどり、
豚の肉を食らい、
憎むべき物の、あつものをその器に盛って、
5 言う、「あなたはそこに立つて、
私に近づいてはならない。
私はあなたと区別されたものだから」と。
これらはわが鼻の煙、ひねもす燃える火である。
6 見よ、この事はわが前にしるされた、
「私は黙っていないで報い返す。
そうだ、私は彼らのふところに、
7 彼らの不義と、彼らの先祖たちの不義とを
共に報い返す。
彼らが山の上で香をたき、
丘の上で私をそしつたゆえ、
私は彼らのさきのわざを量って、
そのふところに返す」と主は言われる。

残りの者

8 主はこう言われる、
「人がおぼろのふさの中に、
おぼろのしるのあるのを見るならば、
『それを破るな、その中に祝福があるから』と言う。
そのように私は、わがしもべらのために行つて、
ことごとくは滅ぼさない。
9 私はヤコブから子孫をいだし、
ユダからわが山々を受けつぐべき者をいだし、
私が選んだ者はこれを受けつぎ、
わがしもべらはそこに住む。
10 シヤロンは羊の群れの牧場となり、
アコルの谷は牛の群れの伏す所となつて、
私を尋ね求めたわが民のものとなる。

主を捨てし者をばく

11 しかし主を捨て、
わが聖なる山を忘れ、
机を禍福の神に供え、
混ぜ合わせた酒を盛つて
運命の神にささげるあなたがたよ、
12 私は、あなたがたを
つるぎに渡すことに定めた。
あなたがたは皆かがんでほふられる。
あなたがたは私が呼んだときに答えず、
私が語ったときに聞かず、
私の目に悪い事をおこない、
私の好まなかつた事を選んだからだ」。

主を捨てし者をばく

13 それゆえ、主なる神はこう言われる、
「見よ、わがしもべたちは食べる、
しかし、あなたがたは飢える。
見よ、わがしもべたちは飲む、
しかし、あなたがたはかわく。
見よ、わがしもべたちは喜ぶ、
しかし、あなたがたは恥じる。
14 見よ、わがしもべたちは心の楽しみによつて歌う、
しかし、あなたがたは心の苦しみによつて叫び、
たましいの悩みによつて泣き叫ぶ。
15 あなたがたの残す名は
わが選んだ者には、のろいの文句となり、
主なる神はあなたがたを殺される。
しかし、おのれのしもべたちを、
ほかの名をもつて呼ばれる。
16 それゆえ、地にあつて
おのれのために祝福を求める者は、
真実の神によつておのれの祝福を求め、
地にあつて誓う者は、真実の神をさして誓う。
さきの悩みは忘れられて、とわが目から隠れうせるか
らである。

かし
反逆者に報いし、残りの者
あり



新天新地

65

R. 21:1

17 見よ、私は新しい天と、新しい地とを創造する。
 さきの事はおぼえられることなく、
 心に思い起すことはない。

18 しかし、あなたがたは私の創造するものにより、
 とこしえに楽しみ、喜びを得よ。
 見よ、私はエルサレムを造つて喜びとし、
 その民を楽しみとする。

19 私はエルサレムを喜び、わが民を楽しむ。
 泣く声と叫ぶ声は再びその中に聞えることはない。
 20 わずか数日で死ぬみどりごと、
 おのが命の日を満たさない老人とは、
 もはやその中ではない。

百歳で死ぬ者も、なお若い者とせられ、
 百歳で死ぬ者は、のろわれた罪びととされる。

21 彼らは家を建てて、それに住み、
 ぶどう畑を作つて、その実を食べる。

22 彼らが建てる所に、ほかの人は住まず、
 彼らが植えるものは、ほかの人が食べない。
 わが民の命は、木の命のようになり、
 わが選んだ者は、
 その手のわざをながく楽しむからである。

23 彼らの勤勞はむだでなく、
 その生むところの子らは災にかからない。
 彼らは主に祝福された者のすえであつて、
 その子らも彼らと共にいるからである。

24 彼らと呼ばないさきに、私は答え、
 彼らがなお語つているときに、私は聞く。

25 おおかみと小羊とは共に食らい、
 ししは牛のようにわらを食らい、
 へびはちりを食物とする。

彼らはわが聖なる山のどこでもそこなうことなく、
 やぶることはない」と主は言われる。

新天新地：喜・恐
 恥

主の言葉に恐れおののく者よ

便り：49-50

66

1 主はこう言われる、
 「天はわが位、地はわが足台である。
 あなたがたは私のためにどんな家を建てようとするの
 か。
 またどんな所がわが休み所となるのか」。

2 主は言われる、
 「わが手はすべてこれらの物を造つた。
 これらの物はことごとく私のものである。
 しかし、私が顧みる人はこれである。
 すなわち、へりくだつて心悔い、
 わが言葉に恐れおののく者である。」

3 牛をほふる者は、また人を殺す者、
 小羊を犠牲とする者は、また犬をくびり殺す者、
 供え物をささげる者は、また豚の血をささげる者、
 乳香を記念としてささげる者は、
 また偶像をほめる者である。

これはおのが道を選び、
 その心は憎むべきものを楽しむ。

4 私もまた彼らのために悩みを選び、
 彼らの恐れるところのものを彼らに臨ませる。

これは、私が呼んだときに答える者なく、
 私が語つたときに聞くことをせず、
 私の目に悪い事を行い、
 私の好まなかつた事を選んだからである」。

5 あなたがた、主の言葉に恐れおののく者よ、
 主の言葉を聞け、
 「あなたがたの兄弟たちはあなたがたを憎み、
 あなたがたをわが名のために追い出して言つた、
 『願わくは主がその栄光をあらわして
 われわれにあなたがたの喜びを見させよ』と。
 しかし彼らは恥を受ける。」



敵に報復する声

66

- 6 聞けよ、町から起る騒ぎを。
宮から聞える声を。
- 7 主がその敵に報復される声を。
シオンは産みの苦しみをなす前に産み、その苦しみの来ない前に男子を産んだ。
- 8 だががこのような事でも見たか、
だががこのような事でも見たか。
- 一つの国は一日の苦しみで生れるだろうか。
一つの国民はひと時に生れるだろうか。
- しかし、シオンは産みの苦しみをやるやいなやその子らを産んだ。
- 9 私が出産に臨ませて産ませないことがあろうか」と主は言われる。
- 「私は産ませる者なのに胎をとぎすであらうか」とあなたの神は言われる。
- 10 「すべてエルサレムを愛する者よ、彼女と共に喜べ、彼女のゆえに喜べ。すべて彼女のために悲しむ者よ、彼女と共に喜び喜べ。
- 11 あなたがたは慰めを与えるエルサレムの乳ぶさから乳を吸って飽くことができ、またその豊かな栄えから飲んで楽しむことができるからだ」。

エルサレムは喜びをなす

- 12 主はこう言われる、「見よ、私は川のように彼女に繁栄を与え、みなぎる流れのように、もろもろの国の富を与える。あなたがたは乳を飲み、腰に負われ、ひざの上であやされる。
- 13 母のその子を慰めるように、私もあなたがたを慰める。
- 14 あなたがたは見て、心喜び、あなたがたの骨は若草のように栄える。主の手はそのしもべらと共にあり、その憤りはその敵にむかっていること

新天地：慰み。主

肉を食う者はさばかい

66

- 15 見よ、主は火の中にあらわれて来られる。その車はつむじ風のように、激しい怒りをもってその憤りをもらし、火の炎をもって責められる。
- 16 主は火をもって、またつるぎをもって、すべての人にさばきを行われる。主に殺される者は多い」。
- 17 「みずからを聖別し、みずからを清めて園に行き、その中にあるものに従い、豚の肉、憎むべき物およびねずみを食う者はみな共に絶えうせる」と主は言われる。
- 18 「私は彼らのわざと、彼らの思いを知っている。私は来て、すべての国民と、もろもろのやからとを集める。彼らは来て、わが栄光を見る。
- 19 私は彼らの中に一つのしるしを立てて、のがれた者をもろもろの国、すなわちタルシシ、よく弓をひくプトおよびルデ、トバル、ヤワン、またわが名声を聞かず、わが栄光を見ない遠くの海沿いの国々につかわす。彼らはわが栄光をもろもろの国民の中に伝える。
- 20 彼らはイスラエルの子らが清い器に供え物を盛って主の宮に携えて来るように、あなたがたの兄弟をことごとくもろもろの国の中から馬、車、かご、騾馬、らくだに乗せて、わが聖なる山エルサレムにこさせ、主の供え物とする」と主は言われる。
- 21 「私はまた彼らの中から人を選んで祭司とし、レビびととする」と主は言われる。

国々から礼拝者が来る

民も来る

- 22 「私が造ろうとする新しい天と、新しい地が私の前にながくとどまるように、あなたの子孫と、あなたの名はながくとどまる」と主は言われる。
- 23 「新月ごとに、安息日ごとに、すべての人はわが前に来て礼拝する」と主は言われる。
- 24 「彼らは出て、私にそむいた人々のしかばねを見る。そのうじは死なず、その火は消えることがない。彼らはすべての人に忌みきらわれる」。

R2(1)

